

第20回ふくしま駅伝 雨の中を駆け抜けた16人の「駅伝魂」激走の記録



▲「本宮市駅伝チームの選手皆さんの頑張りに、私も力をもらいました」と話す橋本康子選手。全区間をまわり一人ひとり選手を激励していただきました。



▲9区の区間賞に輝いた長井彩香選手。2年連続区間賞の走りで昨年より10秒記録を縮めました。

▶第10中継所（本宮）で11区楠選手にタスキをつなぐ10区佐藤選手（右）



▶第6中継所（郡山）で7区渡辺選手にタスキをつなぐ6区関本選手（左）



▶第4中継所（鏡石）で5区難波選手にタスキをつなぐ4区石橋選手（左）



▶第3中継所（矢吹）で4区石橋選手にタスキをつなぐ3区近藤選手（左）



▶第1中継所（白河）で2区渡辺選手にタスキをつなぐ1区橋本選手（左）



▲ゴール目前、遠藤選手（右）は、喜多方市の選手と激しい競り合いを演じた

▶第14中継所（松陵中）から駆け出す細矢選手



▶第9中継所（郡山）で10区佐藤選手にタスキをつなぐ9区長井選手（左）



総合 **17位**
市の部 **12位**

第20回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は、11月16日に県内の51市町村が参加し、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁まで96.2kmで熱い戦いが繰り広げられました。本宮市チームは通算タイム5時間26分40秒を記録、総合17位、市の部で12位と健闘しました。

今大会は、スタートの白河市の気温11.5度と平年より暖かい陽気ながら、開始前から雨が降り続く中での激しい戦いになりました。本宮市は中高生を中心の若いチーム編成でしたが、最後まで粘り強い走りを見せてくれました。また、選手の激走を沿道から応援していただいた皆さん、選手をサポートされたスタッフの皆さん、本宮にお疲れ様でした。

《各区間の成績》

区間	距離	部 門	選 手	タイム	区間順位	通算順位
1区	4.0	女 子	橋本 侑佳	14'46"	33	33
2区	8.2	中高シニア男子	渡辺 祐也	26'55"	21	24
3区	5.8	中高シニア男子	近藤 文一	20'40"	37	30
4区	7.3	男 子	石橋 俊雄	23'51"	19	25
5区	6.4	中高男子	難波 美彰	20'28"	11	19
6区	8.3	男 子	関本 篤	27'56"	28	21
7区	5.4	中学男子	渡辺 晋史	18'32"	11	20
8区	5.4	中学男子	村上 秀	18'40"	31	21
9区	3.0	中学女子	長井 彩香	10'25"	1	20
10区	9.2	男 子	佐藤 勝茂	29'22"	22	18
11区	3.9	女 子	楠絵 美里	14'58"	20	19
12区	7.0	男 子	佐藤 凱	24'14"	25	19
13区	4.8	男 子	小椋建大朗	16'03"	10	19
14区	5.7	中高シニア男子	小泉 祐樹	19'07"	14	17
15区	3.4	中学シニア女子	細矢 春佳	13'14"	25	17
16区	8.4	男 子	遠藤 隆	27'29"	18	17

佳選手は沿道の大声援を受け福大前を粘走。16区アンカー遠藤選手は、一秒の重みを感じながらゴール。仲間と本宮市応援団の待つ県庁に飛び込んだ。

ほぼ全区間を監督らと応援に回り「駅伝魂」を伝えた世界の橋本康子選手の熱意が16人の走りに強い追い風を与えてくれた。



主 将
関本 篤さん

今年も昨年より順位は良くなかったのですが、選手全員が自分の持てる力を一杯出し切ったと思います。また、来年に向け練習を積んでいきたいと思えます。

全員が力を出し切った

華の1区は2年ぶりの橋本侑佳選手。懸命の力走で2区へ。本番に強い渡辺祐也選手は9人抜きでの激走。3区初出場近藤文一選手は泉崎路を粘走。4区石橋俊雄選手は自信溢れる走りでも5人抜き。5区難波美彰選手も6人抜きで10番目に。6区関本篤選手は主将の意地で健闘。前半アンカーの7区初出場渡辺晋史選手は1人抜いて総合20位で開成山にゴールした。

後半スタートの初出場村上秀選手は緊張の走りでも9区へ。タスキを受けた長井彩香選手は賞禄の2年連続区間賞の走りで猛進。エース区間10区佐藤勝茂選手は10番台でお国入り。11区楠絵美里選手は地元市民の大声援を受け10番台をキープ。高校生トリオ12区佐藤凱選手、13区小椋建大朗選手、14区小泉祐樹選手で一気に17位まで順位を上げる。15区2年連続細矢春

《レース経過》 16人の「駅伝魂」



監 督
高橋寛紀さん

追い風に感謝

夏祭り、秋祭りに次ぐ、本宮市商店街の晩秋の風物詩とも言えるふくしま駅伝。「本宮中継所を上位で」を合言葉にタスキをつないだ本宮市2回目の駅伝は、目標としたゼッケン番号と同じ13位に届かず17位でゴールしました。20回記念大会。日本を代表する実業団選手参加によりレベルの高い大会となりましたが、橋本康子選手が全区間応援に回り、駅伝魂をアドバイスし、選手もそれに応える走りを行いました。初出場や復活走で流れがつかない区間は、ロード経験豊富な選手が修正し押し上げるなど、一致団結して本宮市の黄色いタスキをつなぎました。特にチーム目標である「本宮中継所を上位で」つなごうとする長井彩香選手の猛進は、タスキを待つ雨の中の選手に強く熱い力を与えてくれました。質の高い練習を支えていただいた白沢RC・みずいるRCの皆さん、家族の皆さん、大会当日沿道から追い風となる大声援をいただきました市民の皆さんに深く感謝申し上げます。今後もお支援助ご協力をよろしく願っています。